

### 第3回小郡市子ども・子育て会議 会議要約

日時	平成 26 年 3 月 24 日（月） 9：30～10：40
場所	小郡市役所北別館 1 階 中会議室
出席者	<p>&lt;委員&gt;</p> <p>飯田委員、石田委員、今吉委員、大石委員、梶原委員、組坂委員、島田委員、鈴木委員、立野委員、寺崎委員、西本委員、平井委員、村橋委員</p> <p>&lt;事務局職員&gt;</p> <p>中村保健福祉部長、伊東子育て支援課長、木原子育て支援係長、栗山子育て支援係員</p> <p>(株) ジャパンインターナショナル総合研究所 山部</p>
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回 小郡市子ども・子育て会議次第</li> <li>・小郡市子ども・子育て支援事業計画 策定手順（資料1）</li> <li>・小郡市子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果報告書（資料2）</li> <li>・小郡市子ども・子育て支援に関するニーズ調査（特徴的な結果）（資料3）</li> <li>・「就学前教育・保育」及び「地域子ども・子育て支援事業」の量の見込みについて（資料4）</li> <li>・「教育・保育」及び「地域子ども・子育て支援事業」の量の見込み（計画書への掲載イメージ）について（補足資料）</li> <li>・「市町村子ども・子育て支援事業計画に定める教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込み」集計表</li> <li>・小郡市子ども・子育て支援事業計画策定スケジュール（案）（資料5）</li> <li>・小郡市次世代育成支援地域行動計画（後期計画） 質問・回答</li> </ul>
<b>会議内容</b>	
1	開会
2	<p>議題</p> <p><u>(1)「小郡市子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けて</u></p> <p>①策定手順について</p> <p>事務局からの資料説明後、意見を求める。→意見・質問等なし</p> <p>②ニーズ調査の結果の速報について（結果から見えてきたもの）</p> <p>事務局からの資料説明後、意見を求める。→意見・質問等なし</p> <p>③事業量の見込みについて</p> <p>事務局からの資料説明後、意見を求める。</p> <p>・実態に応じたとか、小郡としての計画というところでは、国の手引きに従って算出した見込み量が出ているのに、小郡ではニーズと違うことをやってもいいということなのか。</p> <p>→実態に応じてというのは、大きな市であれば区や地域などの単位で細かく見込みをたてることもできるが、小郡市の場合は市の現状から、小郡市全体で見込み量やそれに対しての</p>

確保策を考えることとしている。

- ・未実施事業の子育て援助活動支援事業でファミリー・サポート・センター事業とあるが、実施事業の内容と重なるものがあるのではないか。

→現在、シルバー人材センターでシルバーママサービスを行っている。保護者のニーズとして、自身も同じ世代の方を助けたいという意見もあり、地域での相互扶助という形でファミリー・サポート・センターの需要がある。ファミリー・サポート・センターをどうつくるかは今後検討していくところだが、いろんな方が地域の中で助け合える形で、と考えている。

## (2) 今後のスケジュールについて

### ①今後の県への報告（スケジュール等）について

事務局からの資料説明後、意見を求める。→意見・質問等なし

## 3 その他

事務局より「小郡市次世代育成支援地域行動計画の質問・回答」の説明

- ・7番の公立幼稚園については4、5歳だけだが、市として3歳以下も考えているのか。ぜひ、考えていただきたい。

→子育て支援課では分からない。

- ・ニーズ調査の中に少し出てくるが、祖父母と同居している方の話が見えてこない。
- ・子どもを預ける選択肢を増やしていろいろな所に預ければいいという、サービスばかりのことで話が進んでいく気がしてならない。お年寄りの方や地域などの力も考えながら、話を進めることが大事だと思う。そういう地域の良さが見えてくる会議になればいいと思う。
- ・データだけではなく、それぞれの経験からの思いを遠慮なく発言し、血の通ったものになるよう試行錯誤していく必要があると思う。

→保健福祉部内で、子ども・子育て支援事業計画の他に、地域福祉計画、老人福祉計画・介護保険事業計画の策定を同時並行で行っているのので、本会議での子育て支援等の意見を踏まえて3課連携して進めていきたい。また、今回のニーズ調査で多岐にわたった課題があり、いろいろな課が連携する必要があるのので、今後、担当者レベルの会議、課長レベルの会議を進めながら行っていきたいと思っている。

→意見がこの場でなかなか言えないことについては、事前に質問を記載していただき会議の場で報告する仕組みを活かしたいと思う。

## 4 閉会のあいさつ